



市公式LINEの「道路・公園不具合等連絡」

くるりんバス元気いっぱい車内放送プロジェクト くるりんバスのルート沿線小学校の児童を対象に、エフエムたちかわの本格スタジオで、バス停を案内する車内放送の収録を行った体験イベント。小学校3年生から6年生の計65人の児童が参加した。収録した音声は10月下旬から、くるりんバスの各ルートで放送している。

暑すぎる教室 小中学校の断熱対応を



山本 洋輔 (立憲ネット緑たちかわ)

問 今年の夏も観測史上最も暑い夏だったと言われています。老朽化した学校では断熱が不十分で、暑さによる児童生徒の学習環境や健康への影響が心配です。児童生徒から暑すぎるという声は寄せられていませんか。最近では、地元の工務店や中高生が協力して断熱改修に取り組むワークショップが行われており、費用が安価な上に環境学習や地域交流等の効果があります。学習環境を向上させるためにも学校の断熱改修に取り組んでください。

答 近年に建設、増築した校舎や大規模改修を実施した校舎は断熱対応していますが、それ以外の校舎は対応していません。梅雨明けの気温の高い時期には空調を使用しても30度を超えることもあり、学校現場から暑いとの声が寄せられることがあります。既存校舎への断熱対策については、費用対効果を考慮した中で検討していきます。また、建物以外の断熱対策や空調設備の更新など様々な方策を研究・検討して暑さ対策に取り組んでいきます。

一般質問項目 ①入札制度の在り方について ②学校施設における断熱について ③一層の気候変動対策の推進を ④若者議会の実現に向けて

立川駅北口の迷惑行為 新たな取り組みが必要



中山 ひと美 (自民党クラブ)

問 立川駅北口では、以前はピンクちらしの配布等が迷惑行為でしたが、最近では落書きやスケートボードに変化しています。サンサンロードへの防犯カメラ設置等、安全・安心のまちづくりとして新たな取り組みが必要な時期に入っています。まちづくり協議会でもスケートボードによる迷惑行為は既に許容範囲を超えており、条例による罰則が必要との意見が出ています。市長として今後の立川全体のまちづくりのあり方をどのように感じていますか。

答 立川駅南北全体のまちづくりとしては、市民の安心感や来街者にとっての魅力をいかに増していくかが課題と考えています。スケートボードの問題は苦情が多く、現地で少年達から生の声を聞いてきました。遊び場所はつくっていきながらも迷惑行為には対応が必要であり、場合によっては、警察と連携した対策も必要と考えているところです。今後も暮らしやすく、魅力あふれる立川を築くため、地域の意見も取り入れながら取り組みたいと考えています。

一般質問項目 ①立川市立中学校部活動の地域連携・地域移行について ②成熟したJR立川駅北口まちづくりについて

災害時の通報手段 LINEを利用してはどうか



大沢 純一 (公明党)

問 市の公式LINEに「道路・公園不具合等連絡」という通報システムがあります。私がこのシステムの導入を求めた目的の重要な点は、災害時に有用だということです。画像が位置情報とともに送信されることは、行政の情報収集において重要です。平時には地域の課題解決のために利用して市民に使い方に慣れていただくことで、災害時にもスムーズに使えることを目指したものです。災害時の通報手段にLINEを利用すべきと考えますが、見解を伺います。

答 災害初動期に多くの情報が入ってくる場合は、市がそれをそしゃくし、有益な情報を選別することが必要になってくると考えています。そのため現在では、LINEを用いて市民からの情報提供を受けることは、初動期には混乱が生じると考えています。一方、応急活動をしていく上では、市内の写真情報の提供が有益になるタイミングが訪れると思われるため、LINEを用いた市民からの写真情報の使い方等について調査研究していきたいと考えています。

一般質問項目 ①災害対策について ②市内の経済活性化について

市内バス減便への対策 バスの利便性や魅力の向上を



いしとび かおり (都民ファーストの会立川市議会)

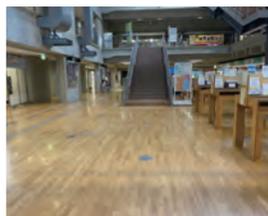
問 市内のバスは減便が続く危機的状況と考えています。バスの利便性が低下している中で、市民がバスを利用しやすい環境をつくるため、JR立川駅北口デッキ下に時計を設置してはいかがでしょうか。また、バスの魅力を高めるような取り組みは行っていますか。たとえば、子どもたちが憧れ、市民が乗りたくなるようなラッピングバスを走らせたり、ラッピングバスの補助制度をつくってみたいと思います。市の取り組み実績と見解をお示しください。

答 デッキ下への時計の設置は、必要性も含め慎重に判断していきたいと考えています。バスの魅力を高める取り組みとしては、「元気いっぱい車内放送プロジェクト」を実施しました。ラッピングバスについては、民間事業者が行う事例のほか、市では平成25年の国民体育大会のマスコットキャラクターをコミュニティバスにラッピングした事例があります。ラッピングバスの有効性等については、地域公共交通活性化協議会で議論していきたいと思っています。

一般質問項目 ①バス減便について ②もっと市民が来庁したくなる立川市役所へ パート2

市議会を傍聴してみませんか

年に4回行われる定例会や臨時会はインターネットでライブ中継と録画配信をしていますが、会議のある日には議場や委員会室に入って傍聴することができます。事前予約不要で、受付は傍聴券等を受け取るだけです。補聴機器の貸し出しや車椅子席のご用意もあります。市役所での手続きの前後や「ちょっと覗いてみようかな」と思い立った時など、ぜひ一度お越しください(会議のある日は8面に掲載しています)。



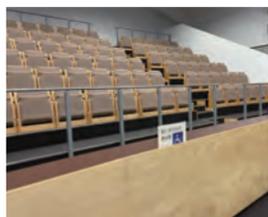
市役所正面玄関から、中央階段に進みます。エレベーターをご利用の場合は、3階まで上がってください。



中央階段を3階まで登ります。登り切ったら右へ曲がってください。



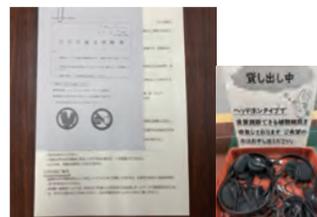
傍聴受付カウンターがあります。カウンター横には、本日の予定が掲示されています。



傍聴席の様子です。自由席ですので、好きな席にご着席ください。車椅子の方は専用の席があります。



カウンターに向かって右側が入り口です。スロープになっており、車椅子でも入場できます。



傍聴資料と傍聴券をお受け取りください。補聴機器の貸し出しもしていますので、必要な方は受付職員へお声がけください。傍聴券は退場時に傍聴受付職員へ返却してください。

●委員会の傍聴受付は議会事務局カウンターで行っています。